規模が違っても、起業を応援する熱量は同じ！TOKYO創業ステーション視察レポート

分類：ブログ ｜ 投稿日：2026-04-21



こんにちは、おおいたスタートアップセンターの中本毅です。

2026年2月28日（土）に、当センターの岩崎センター長、コーディネーターの中本と渕野の3名で、東京都千代田区にある「Startup Hub Tokyo 丸の内（TOKYO創業ステーション 丸の内 1階）」をご訪問しました。今回はその様子を詳しくご紹介します。



TOKYO創業ステーションは、東京都と(公財)東京都中小企業振興公社が連携して運営する創業支援施設で、起業の準備段階から創業後の成長までをシームレスにサポートする巨大な拠点です。施設は階層ごとに役割が明確に分かれています。

1階の「Startup Hub Tokyo 丸の内」は、起業に少しでも興味を持った顕在層を対象としたラウンジやイベントスペース。

2階の「Planning Port 丸の内」は、具体的な事業計画の作成や融資・専門相談を行うエリア。

3階の「Advance Port 丸の内」は、創業後10年未満の方を対象に、事業拡大や起業家同士のネットワーク構築を支援するスペースとなっています。

当日は、1階のStartup Hub Tokyo 丸の内の運営を担うコミュニティマネージャーの堀内様にご案内いただき、1階施設の隅々まで拝見するとともに、活発な情報交換・意見交換をさせていただきました。



まず驚かされたのは、起業へのハードルを極限まで下げる工夫の数々です。広々としたラウンジには、起業関連の書籍や雑誌が約1500冊以上も揃えられ、メンバー登録をすると無料で自由に閲覧することができます。また、小さなお子様連れの方でも安心して起業準備に専念できるよう、保育士による一時預かり（事前予約制）のキッズルームも完備されていました。



特に私たちが注目し、深く意見交換をさせていただいたのが「コンシェルジュ起業相談」と「イベント運営」の仕組みです。



Startup Hub Tokyo 丸の内には、現在29名もの起業経験者（現役の経営者など）がコンシェルジュとして在籍しており、東京都内で創業前～創業間もない法人または個人の方を対象に「ちょっとしたアイデア」の段階から壁打ち相手になってくれます。先輩起業家として等身大のアドバイスを行うというスタイルに、大変共感しました。

また、オンラインやハイブリッドを含め、年間300本以上（ほぼ毎日！）という驚異的な数のイベントを開催されています。情報交換の中で、これだけのイベントをどう企画し集客しているのか、行政施設としてのルールの範囲内でいかに尖った企画を実現するのかといった、現場ならではの苦労や実践的なノウハウを赤裸々に伺うことができました。

まずは「起業」という選択肢に触れる人の裾野を圧倒的に広げることが重要であるという考え方には、大分でのコミュニティ形成においても大いに学ぶべき点がありました。



東京と大分とでは、市場の規模感こそ異なりますが、起業に挑戦する方々の抱える思いや悩み、そしてそれを後押しする支援者の熱量は全く同じです。今回の視察と意見交換で得られた多大な学びは、おおいたスタートアップセンターにおける今後のイベント企画の多様化や、より身近で利用しやすい相談体制の構築、そして起業家コミュニティの活性化にしっかりと直結させてまいります。

お忙しい中、私たちの数々の質問に丁寧にお答えいただき、館内をご案内いただいた堀内様をはじめとするStartup Hub Tokyo 丸の内の皆様、誠にありがとうございました。

大分で新しいことに挑戦したい皆様を全力で後押しできるよう、当センターも引き続き支援体制をブラッシュアップしていきます。起業のアイデアが固まっていなくても大歓迎です！どなたでもお気軽にご利用ください。皆様のご来所をスタッフ一同、心よりお待ちしております。